



ボランティア紹介リレー

第32回

あいみん
テラス

さん
SUN♡
すまいる

今回は「一般社団法人あいみんテラス」さんからの紹介で、「さんSUN♡すまいる」さんをご紹介します。3月12日(火)に開かれた「赤ちゃんサロン」におじゃまして取材してきました♪

「さんSUN♡すまいる」ってこんな団体

女性のライフサイクルの中で大きな変化をもたらす、妊娠・出産。産後うつ、乳児虐待、夫婦不和など社会的にも問題になっています。地域で活動する助産師・看護師として、母となった女性に寄り添い、産後の不安を少しでも減らしていただけることを目的として活動しています。

主な活動

産前産後の不安な気持ちを少しでも減らせるよう、助産師・看護師・歯科衛生士・産後ドゥーラとしての専門知識や先輩ママとしての経験を活かして相談に乗ったり、同じ悩みを持つママ同士の交流の場を開いたりしています(「赤ちゃんサロン」「産後のお守りサロン」「離乳食教室」など)。ランチ付きの開催もあり、リラックスした雰囲気でお話いただけるように工夫をしています。



個別相談に応じる代表沖野さん

赤ちゃんサロンレポート

3月12日に、市民活動支援センター内で開催された「赤ちゃんサロン」に参加した様子をお伝えします！参加するには事前申し込みが必要なので、さんSUN♡すまいるさんのウェブサイトをご確認ください。対象は、1歳半までのお子さまがいる方(上のお子さまは同伴可)で、年齢層も近めのママたちが参加されている印象でした。

この日は4組の親子(生後6か月～1歳4か月の赤ちゃん和妈妈)が参加されました。会場は会議室ですが、かわいいマットが敷かれるので赤ちゃんも安心です。

はじめに個別相談で、気になることを助産師さんに相談。専門家と先輩ママ、両方の視点でアドバイスをしてくれます。参加者の方は、悩みを分かってもらえるだけでも安心した様子でどンドン話をされていました。赤ちゃん用の体重計で体重測定も行われます。継続して参加することで、信頼できる助産師さんに成長をみてもらうこともできます。



個別相談が終わったら、輪になって交流会が始まります。この日のテーマは「産前産後、育児休暇に関すること」パートナーの育休や二人目以降の出産に関する不安、大変だったことなどを話されました。経験者は「そうそう、それが大変だった」と共感され、そうでない方はこれから待ち受ける状況を真剣に、楽しそうに聞いていました。



終始アットホームな雰囲気

市民の皆さまへ

一昔前を振り返ると、あらゆる面で情報は少なく、周りの方の知恵と力を借りて手探りで子育てされていました。今は、すぐに情報を得られる便利な時代ですが、情報迷子になられ、さらに不安になられる方も少なくありません。

また、人との繋がりが希薄になり、孤立して子育てされている方もみえます。

そんな状況を救えるのは、すぐ近くにいる方の存在だと思っています。

子育て世代の方に、どうぞ声をかけてください。たった一声、挨拶で救われる方もみえると思います。

子育て世代の皆さん、周りの方に委ねる力を身につけてくださいね。

「さんSUN♡すまいる」さんウェブサイト⇒<https://sansuma138.com/>



おすすめ福祉の本

わたしたち手で話します



図書館で借りることができます。

フランツ=ヨーゼフ・ファイニク/作 フェレーナ・バルハウス/絵
ささきたづこ/訳 あかね書房

いつもは気がつかなくても家のなかや外ではいろいろな音がしています。小鳥や虫の声。自動車や電車の走る音。音楽や放送やサイレン。テレビやチャイムや電話やインターホンなど。そういうものが聞こえないと、毎日の生活はどうなるのでしょうか？でも、耳が不自由でも楽しいことはこんなにいっぱいあるのです。この絵本を読みながら、それを自然と経験してもらえたらと思います。